

	63期 新潟 国内イマージョン研修
日 時	11月5日(土) 13:45~11月6日(日) 12:30
場 所	国際大学(新潟県南魚沼市)
参加者	1年生 25名

内 容	<p>11月5日(第1日目)</p> <p>○講義のはじまり 大学に到着後すぐに研修室へ。 生徒2名に1名のファシリテーターがつくチームとして着席。緊張している生徒にファシリテーターは気さくに声をかけ、講義へのモチベーションイノベーションをあげていた。ファシリテーターは10か国13名、それぞれ母国および欧米の大学を卒業後、国際社会でのビジネス経験を持つ大学院研究生である。</p> <p>○自己紹介 自己紹介をおこなって、アイスブレイク。</p> <p>○授業のテーマ 授業のテーマは、”Cross-Cultural Communication”。教授が講義をしながら、生徒に質問を投げかけ、生徒は気づいたことや意見を発表していく講義スタイルである。</p> <p>○ディスカッション 事前に提示されていた課題について、ファシリテーターとディスカッションを行い、グループでまとめた意見を発表する。 課題の1つは、異なる2つの国の人の短い会話文から、その文化、背景を考える。 「親が決める相手と結婚する文化について、どう考えるか。」 話し合いの発表の時には、参考として、サウジアラビア出身のファシリテーターが母国の現状、自身の考えを話した。 生徒にとって貴重な機会となった。</p> <p>○ディスカッションのまとめ発表に対する教授の評価、助言</p> <p>○講義終了 全編英語で行われた講義が終了。 生徒は、とても積極的に取り組み、考え、自分のことばで表現していた。</p> <p>○キャンパス 散策 雪景色の八海山が向こうに見える緑豊かなキャンパス。紅葉も山から下りてきていた。キャンパスにももうすぐ雪が降るそう。例年、約3メートルの積雪になりアジア、アフリカ各地からの留学生はとても驚くという話を聞く。キャンパス内には学生寮、家族寮もある。</p>
-----	---



○食事

お世話になった民宿。

食事は地元の食材がふんだんに使われ、ご飯は魚沼産コシヒカリ新米をいただいた。



○食後の研修。

- ・授業の振り返り



11月6日(第2日目)

○ディスカッション

ファシリテーターとディスカッション。生徒5名にファシリテーター1名のチーム。様々なトピックについて、話し合う。

横浜のおすすめは何か？自分の住んでいるところの紹介等、1日目より、さらに途切れることなく、会話がはずんでいた。



○キャンパスツアー

チームごとにファシリテーターがキャンパス内を案内。

図書館、24時間オープン学習スペース、寮等をまわった。自然に恵まれた広いキャンパスの中にはBBQスペースもあった。



○アクティビティ

講義室に戻り、全編英語で、アクティビティを行った。

1 班対抗で単語ゲーム

2 トピックが3つ提示され、チームごとにその中から1つ選び、ディスカッションをし、まとめを発表した。

生徒達は、積極的に話し合い、また効果的に発表する方法についてファシリテーターから助言を受け、短時間にまとめ、発表することができていた。

○フェアウェルパーティー

世界各国の料理をいただきながら、生徒達は、教授や2日間お世話になったファシリテーターの方々と積極的に会話を楽しんでいった。

パーティの最後に生徒代表がお礼の言葉を述べた後、生徒全員でアカペラで「新しき日」を合唱。美しい歌声とハーモニーに大学の皆さんは、驚き、感激していらした。

